

おなら 毛虫もするのかな… 子の素朴な疑問 絵本に

毛虫もおならをするのだろうか？ そんな素朴な問いが子どもたちの笑いにつながればと、建築家の松村正希さん(69) 宇治市が、「けむしのおなら」と題した絵本を出版した。動物園や学者への取材を基に、生き物たちの多様なおならの実態をコミカルに描いている。

宇治の松村さん 専門家に取材、出版

建築設計会社「莫設計同人」社長の松村さんは、障害児施設や児童福祉施設の設計を数多く手がけ、毎年、つながりのある施設にディナーショーをプレゼントするなど、子どもらと触れ合う機会が多い。

一昨年末のある夜、「毛虫はおならをするのか」との疑問を夢の中で抱いた。さまざまな事情で家庭に恵まれない子どもたちに、少しでも笑いを届けることのできる絵本の題材になるのではとひらめき、出版を決意した。

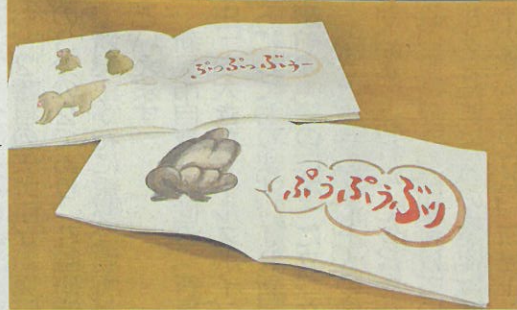
絵本では、ゴリラやサイ、ゾウなど11種類の動物のおならを擬音語で紹介。絵を担当する村上祐喜子さん(62) 大阪府茨木市とともに、霊長類学者の河合雅雄さんや鹿児島大共同獣医学部、京都市や大阪市動物園などに取材

コミカルに描き笑い誘う

を重ね、確認できた事実を話に盛り込んだ。こぼれ話のページでは、「トラやライオンは肛門に脂肪層がないため音がしない」といった知識や、毛虫も食事で空気を飲み込んでいるため「集音マイクなら聞こえるかもしれない」との専門家の見解もつづる。ピアノ伴奏で歌える曲も作って、巻末に楽譜を載せている。

松村さんは「動物園の動物たちがおならをしているかなど、誰も気に掛けないが、実はちゃんとしている。子どもたちが想像を膨らませ、声を出して笑ってくれたらうれし」と話す。

498、千円(税込み)。京都新聞出版センター ☎075(241)6192。5月10日より書店で発売。(清原稔也)



絵本「けむしのおなら」を作った松村さん(左)と村上さん

尹東柱記念碑 10月建立

宇治の市民団体 活動12年、結実へ

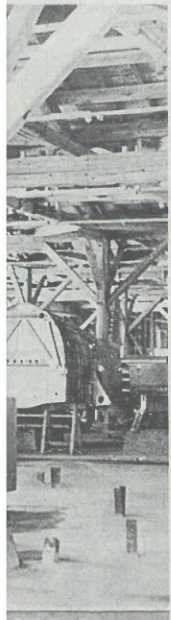


2007年に完成している記念碑設置が近づいた時期に実際彫られ、詩人尹東柱記念碑建立委員会提

同志社大に留学中の安齋育郎立1943年7月に治安維持法違反で逮捕されて獄死した韓国の詩人尹東柱(1917〜45年)の記念碑建立を目標として活動している宇治市の市民団体は27日、同市志津川の宇治川沿いで設置が決まり、10月28日に除幕することを明らかにした。12年間粘り強く活動を続けて実現にこぎつけた。「詩人尹東柱記念碑建立委員会」(代表・ある生糸の一元も守り抜かんとついに決別…。波多野鶴4代目社長の林

軍需産業への転換 余儀なく

変更(1943年)



一大繊維メーカーとして発展した郡是製糸は1967(昭和42)年、今のグンゼに社名を変えたが、戦時